

# 令和4年12月期 第2四半期 決算説明資料

---

(令和4年1月1日～令和4年6月30日)

令和4年8月10日

株式会社トーア紡コーポレーション

東京証券取引所 スタンダード市場

証券コード：3204

# 目次

---

1. 令和4年12月期 第2四半期 実績	P. 3 ~ 12
2. 令和4年12月期 通期業績予想	P. 13 ~ 14
3. SDGsへの取り組み	P. 15 ~ 17
4. トピックス	P. 18 ~ 19

# 連結決算概要

(金額：百万円)	第 2 四 半 期 累 計			前年同期比 増減率
	令和2年12月期	令和3年12月期	令和4年12月期	
売 上 高	7,307	7,370	<b>8,173</b>	10.9%
営 業 利 益	94	205	<b>210</b>	2.7%
営 業 利 益 率	1.3%	2.8%	<b>2.6%</b>	△0.2ポイント
経 常 利 益	94	220	<b>245</b>	11.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	102	111	<b>114</b>	2.5%

原材料やエネルギー価格の高騰に加え、急激な円安による物価上昇があったものの、増収増益を確保

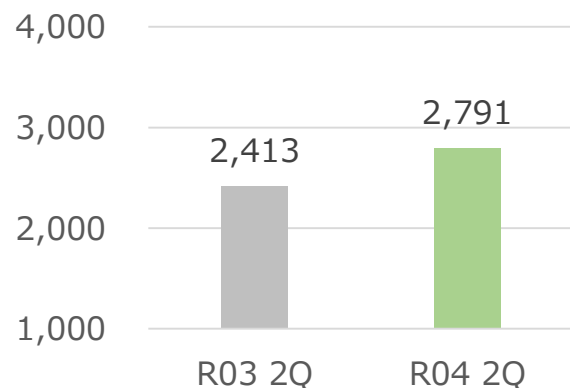
# セグメント別業績

(金額：百万円)	第 2 四 半 期 累 計									前年同期比増減率		
	令和 2 年 12 月 期			令和 3 年 12 月 期			令和 4 年 12 月 期					
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
衣 料 事 業	2,704	12	0.5%	2,413	65	2.7%	<b>2,791</b>	<b>85</b>	<b>3.1%</b>	15.7%	30.4%	0.4 <sup>ポイント</sup>
インテリア 産業資材事業	2,767	△9	—	2,847	66	2.3%	<b>2,947</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	3.5%	△98.7%	△2.3 <sup>ポイント</sup>
エレクトロ ニクス事業	726	△1	—	1,064	18	1.7%	<b>1,250</b>	<b>29</b>	<b>2.4%</b>	17.4%	60.9%	0.7 <sup>ポイント</sup>
ファイン ケミカル事業	544	40	7.4%	434	11	2.5%	<b>595</b>	<b>46</b>	<b>7.8%</b>	36.9%	317.9%	5.3 <sup>ポイント</sup>
不動産事業	415	272	65.6%	441	275	62.3%	<b>449</b>	<b>275</b>	<b>61.4%</b>	1.6%	0.3%	△0.9 <sup>ポイント</sup>
そ の 他	148	△4	—	168	△3	—	<b>140</b>	△11	—	△16.4%	—	—
調 整 額 ( 販 管 費 等 )	—	△215	—	—	△227	—	—	△216	—	—	—	—
合 計	7,307	94	1.3%	7,370	205	2.8%	<b>8,173</b>	<b>210</b>	<b>2.6%</b>	10.9%	2.7%	△0.2 <sup>ポイント</sup>

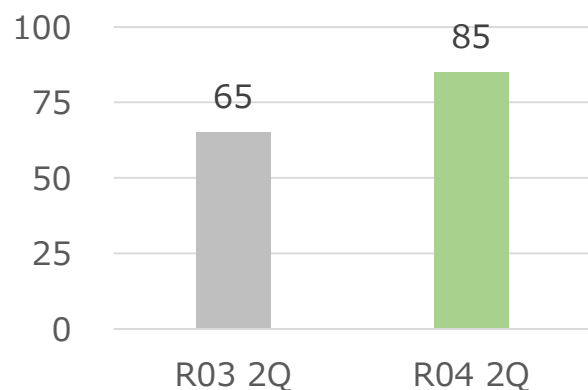
# 衣料事業

(単位：百万円)

## 売上高



## 営業利益



売上高	2,791百万円	15.7%増
営業利益	85百万円	30.4%増
営業利益率	3.1%	0.4ポイント増

## 業績概要

### ▶ 毛糸部門

織糸の需要が国内産地で回復し増収

### ▶ ユニフォーム部門

スクール制服向け素材およびニット製品は各学校の制服モデルチェンジ増加による新規獲得が堅調で増収

官公庁制服向け素材は調達数量減少の影響で減収

一般企業向け制服素材は需要回復の兆しが見え増収

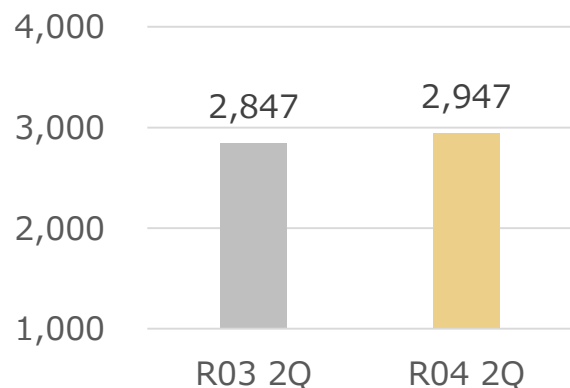
### ▶ テキスタイル部門

主要取引先の在庫調整が解消されたことで、夏物素材の受注が順調に推移し増収

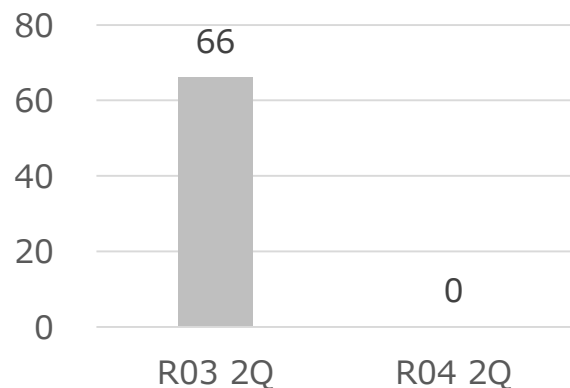
# インテリア産業資材事業

(単位：百万円)

## 売上高



## 営業利益



売上高	2,947百万円	3.5%増
営業利益	0百万円	98.7%減
営業利益率	0.0%	2.3ポイント減

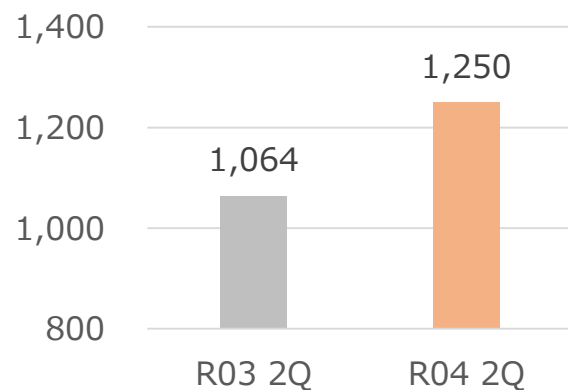
## 業績概要

- ▶ ポリプロファイバー部門 自動車内装材用原綿は自動車減産により引き続き減産傾向も、カーペット用原綿は展示会が規模を縮小しながらも開催され、増収増益
- ▶ カーペット部門 ホテル、オフィス、ダストコントロール用途の需要が戻り始めたことと、一般資材の回復や生産効率の改善により増収となるも、急激な原材料、燃料、副資材の値上がりを受け減益
- ▶ 特殊繊維部門 金属繊維は自動車減産の影響で減産となるも、カーボン繊維は建設機械向けで活況となり微増収
- ▶ 自動車内装材部門 半導体不足の影響が色濃く減収減益
- ▶ 不織布部門 土木・寝装関連は前年並み、防草・緑化関連は順調に推移するも、急激な原材料、燃料、資材の値上がりを受け増収減益
- ▶ 中国現地法人 半導体不足と上海ロックダウンの影響を受け大きく生産数量を落とし減収減益

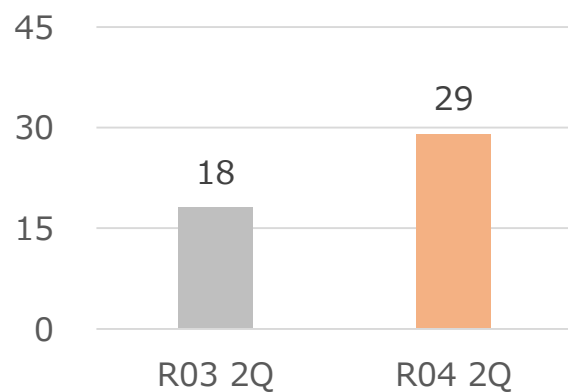
# エレクトロニクス事業

(単位：百万円)

## 売上高



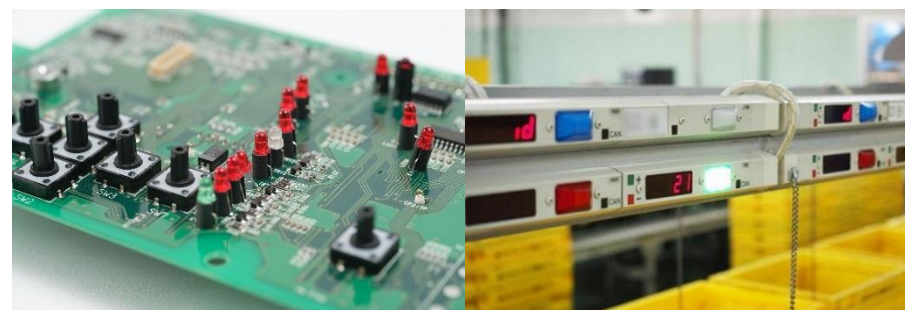
## 営業利益



売上高	1,250百万円	17.4%増
営業利益	29百万円	60.9%増
営業利益率	2.4%	0.7ポイント増

## 業績概要

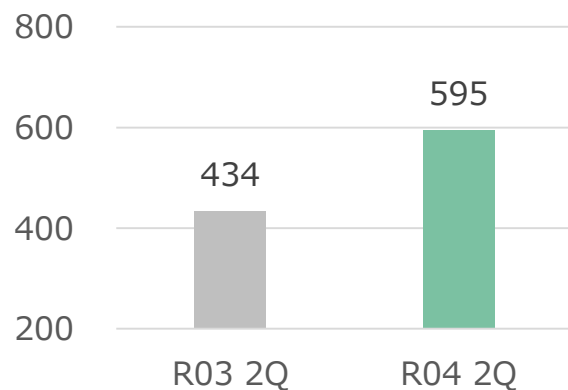
- ▶ 電動工具向けコントローラーは、逼迫していた半導体部品や生産部材の需給が緩和されたことにより生産が安定し、受注残の解消が進む
- ▶ 電子部品においても半導体製造装置向けの受注が好調に推移



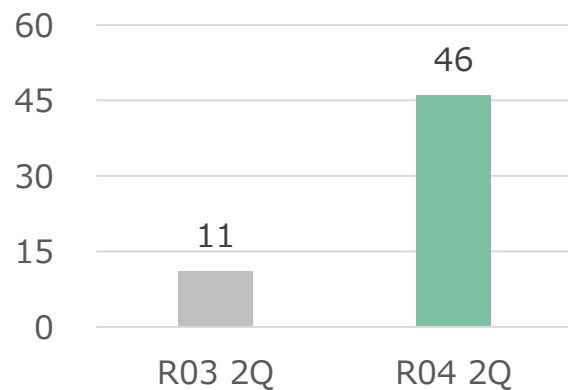
# ファインケミカル事業

(単位：百万円)

## 売上高



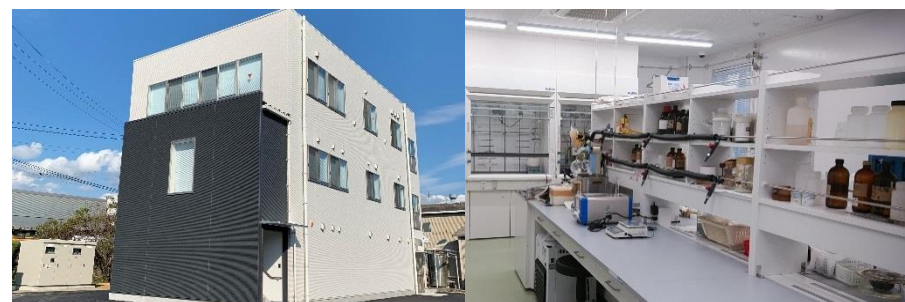
## 営業利益



売上高	595百万円	36.9%増
営業利益	46百万円	317.9%増
営業利益率	7.8%	5.3ポイント増

## 業績概要

- ▶ 電子材料分野はデジタル機器向けや半導体向けプロセス材料の受注増で増収
- ▶ ヘルスケア分野はジェネリック医薬品向けの需要が堅調に推移し増収

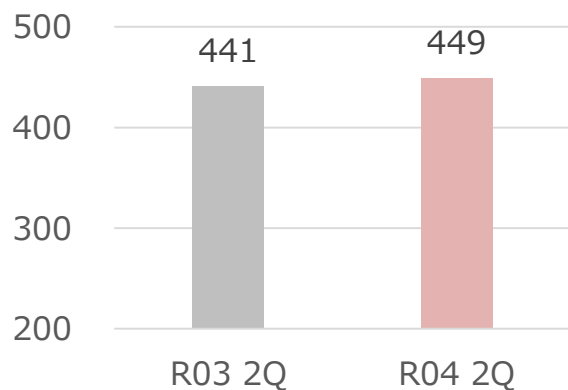




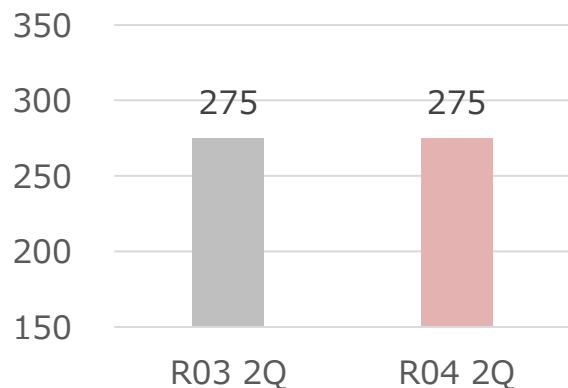
# 不動産事業

(単位：百万円)

## 売上高



## 営業利益



売上高	449百万円	1.6%増
営業利益	275百万円	0.3%増
営業利益率	61.4%	0.9ポイント減

## 業績概要

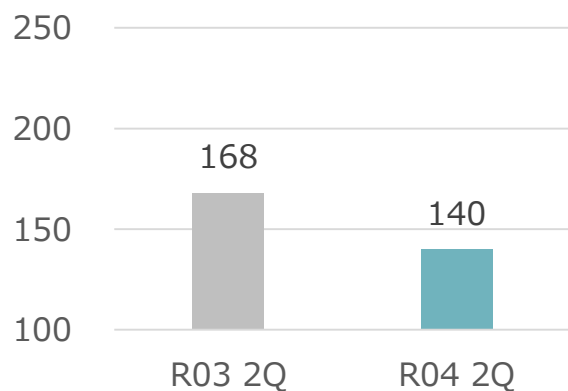
- ▶ ショッピングセンターへ新規テナントが入居したことに加え、新たな事務所賃貸がスタートしたことで増収増益
- ▶ 佐賀県のゴルフ練習場についても順調に推移



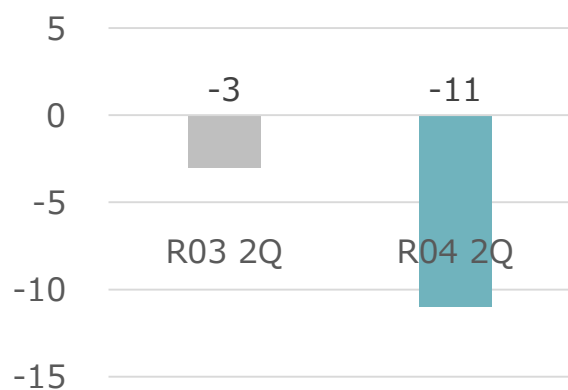
# その他の事業

(単位：百万円)

## 売上高



## 営業利益



売上高	140百万円	16.4%減
営業損失	11百万円	前年同期は 営業損失3百万円
営業利益率	—	前年同期も利益なし

## 業績概要

### ▶ 自動車教習事業

二輪車は好調に推移するも、普通車については入校生数が伸び悩み減収

### ▶ ヘルスケア事業

OEM化粧品については美容・健康器具向けやフェムテック向け用途の受注が決まるも、全体的には化粧品、健康食品とも新型コロナウイルス感染拡大前の水準には未だ回復せず



# 連結貸借対照表 サマリー

(金額：百万円)

連結貸借対照表	令和3年12月	令和4年6月	増減
流動資産	9,733	11,237	1,504
固定資産	21,755	22,355	600
資産合計	31,488	33,593	2,104
流動負債	6,603	8,257	1,653
固定負債	13,515	13,545	29
負債合計	20,119	21,802	1,683
株主資本	10,533	10,497	△35
その他包括利益累計額	826	1,283	457
非支配株主持分	8	8	△0
純資産合計	11,368	11,790	421
負債・純資産合計	31,488	33,593	2,104
(自己資本比率)	36.1%	35.1%	△1.0ポイント

# 連結キャッシュフロー サマリー

(金額：百万円)	令和3年6月累計	令和4年6月累計	
純利益	215	239	<u>営業キャッシュフロー</u> 主な増加要因： 仕入債務の増加 277百万円 主な減少要因： 売上債権の増加 941百万円 棚卸資産の増加 376百万円
減価償却費	174	180	
運転資金	△563	△1,040	
その他	△134	△163	
営業CF	△308	△784	
設備投資	△104	△571	<u>投資キャッシュフロー</u> 主な減少要因： 有形固定資産の取得による支出 571百万円
その他	20	△157	
投資CF	△84	△728	
長・短期借入金増減	276	1,202	<u>財務キャッシュフロー</u> 主な増加要因： 長期借入による収入 2,000百万円 短期借入金の純増加額 1,270百万円 主な減少要因： 長期借入金の返済による支出 2,066百万円
社債増減	△50	—	
配当金	△88	△133	
その他	△1	△1	
財務CF	137	1,068	
CF増減	△229	△385	

# 令和4年12月期 業績予想概要

(金額：百万円)	令和2年12月期 実績	令和3年12月期 実績	令和4年12月期 予想	前年同期比 増減率
売上高	14,752	15,532	16,000	3.0%
営業利益	270	358	450	25.4%
営業利益率	1.8%	2.3%	2.8%	0.5ポイント
経常利益	297	417	380	△9.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	184	258	220	△15.0%

令和4年12月期は先行きの不透明感があるものの、  
概ね通期業績予想通りに進捗の見通し

# セグメント別業績予想

	実績			予想			前年同期比増減率		
	令和3年12月期			令和4年12月期					
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
(金額：百万円)									
衣料事業	5,157	102	2.0%	5,600	160	2.9%	8.6%	56.9%	0.9ポイント
インテリア 産業資材事業	5,863	90	1.5%	5,900	90	1.5%	0.6%	0.0%	0.0ポイント
エレクトロ ニクス事業	2,298	46	2.0%	2,150	52	2.4%	△6.4%	13.0%	0.4ポイント
ファイン ケミカル事業	1,022	44	4.3%	1,100	85	7.7%	7.6%	93.2%	3.4ポイント
不動産事業	890	544	61.1%	900	540	60.0%	1.1%	△0.7%	△1.1ポイント
その他	300	△38	—	350	3	0.9%	16.7%	—	—
調整額 (販管費等)	—	△430	—	—	△480	—	—	—	—
合計	15,532	358	2.3%	16,000	450	2.8%	3.0%	25.4%	0.5ポイント

# SDGsへの取り組み - 1

## 環境配慮の仕組みづくり



～尾州発の新たな環境基準の確立を目指して～

東亜紡織(株)と(株)ソトーは、SDGsの達成に向けて「GREENWOOLバリューチェーン」を立ち上げました。

『CSR、環境負荷低減と経済性の実現』をミッションに定め、羊毛業界（衣料事業）のグローバルスタンダードの確立を目指し、運用を開始します。

原料から生産、廃棄に至るまでのバリューチェーンを構築し、CO2排出量などの環境負荷及び、社会的な責任に対する要件について定量化し、GREENWOOL INDEXとして新たな価値や利便性の高い効率的なシステムを構築してまいります。



# SDGsへの取り組み - 2

## 環境にやさしい企業活動

2022年1月に活性炭排水処理設備を新規導入しました。

- ▶ 産業廃棄物排出量（汚泥排出量）を削減します。
- ▶ 着色排水改善による周辺地域への環境負荷低減を目指します。



### 【設備外観】



### 【汚泥削減効果】

2021年上期汚泥排出量に対し、2022年上期実績は30%の削減効果がありました。



# SDGsへの取り組み - 3

## 人々の暮らしを快適に

過酷な環境でも肌のパフォーマンスを整える、新しいスキンケア

ダメージに負けない  
潤いに満ちた  
ハリのある肌へ

100%天然成分  
フコイダン配合

Functional  
MCA<sup>®</sup>配合

～美容・健康商品を通じてクオリティ・オブ・ライフ向上へ～

「ONUモイスターミスト」海藻類のヌメリ成分に多く含まれる天然成分であるフコイダンと、京都大学、大阪市立大学大学院と共同開発したエイジングケア成分であるMCAを組み合わせたスキンケア商品です。

～カーペット製品への再生ナイロン原料の使用～

漁網やプラスチックごみなどの廃棄物をリサイクルして作られ、バージン材と同等品質で再利用できる再生ナイロンを使用した環境に配慮したカーペットです。海の環境保全や石油資源消費削減に貢献できるSDGs資材です。

# トピックス - 1

## ▶トーア紡グループ創立100周年

2022年2月8日、トーア紡グループは創立100周年を迎えました。

100年の歩みは必ずしも平坦な道のりではなく、幾度となく歴史の大転換に遭遇する中で、先人たちが手探りながらも時代の変化を見据え、着実に一步一步道を切り開いていきました。その挑戦と創造の結果、現在の事業に至っております。

「想いを紡ぎ 新たな未来へ」。

100周年を記念して定めたこのスローガンのもと、次の100年に向けて受け継いだ有形無形の財産を、責任を持って次世代に継承します。

当社の創業者岩井勝次郎翁の訓示「顧客満足」「重点主義」「公平性」を脈々と受け継ぎ、これからも時代の変化を敏感に享受しながら、広く社会の役に立てるよう努力を続けて参ります。



## トピックス - 2

### ▶トア紡コーポレーション / 「ONU」オフィシャルサイト開設

(株)トア紡コーポレーションは、自社ブランド「ONU（オンユー）」のECサイトを開設しました。



「ONU」は、京都大学、大阪市立大学大学院と共同開発した化粧品成分MCAを配合した肌活性エイジングケア化粧品や、トンガ王国産モズクを原料とした高純度・高品質フコイダンを用いた化粧品や健康食品など、美容と健康をサポートする製品を展開しているブランドです。

ONUオフィシャルサイト (<https://onu-official.stores.jp/>) では、アスリート認定ローション、美Smileスキンケア化粧品、健康食品の3シリーズを掲載しており、各アイテムのご購入や、PR動画のご視聴が可能です。



## 本資料の取り扱いについて

本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画に関する記述等は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。